

【ライフサイエンス分野】: 医薬品プロジェクト(1)

資料2-2-1
 科学技術・学術審議会
 研究計画・評価分科会
 (第80回) R4.3.3

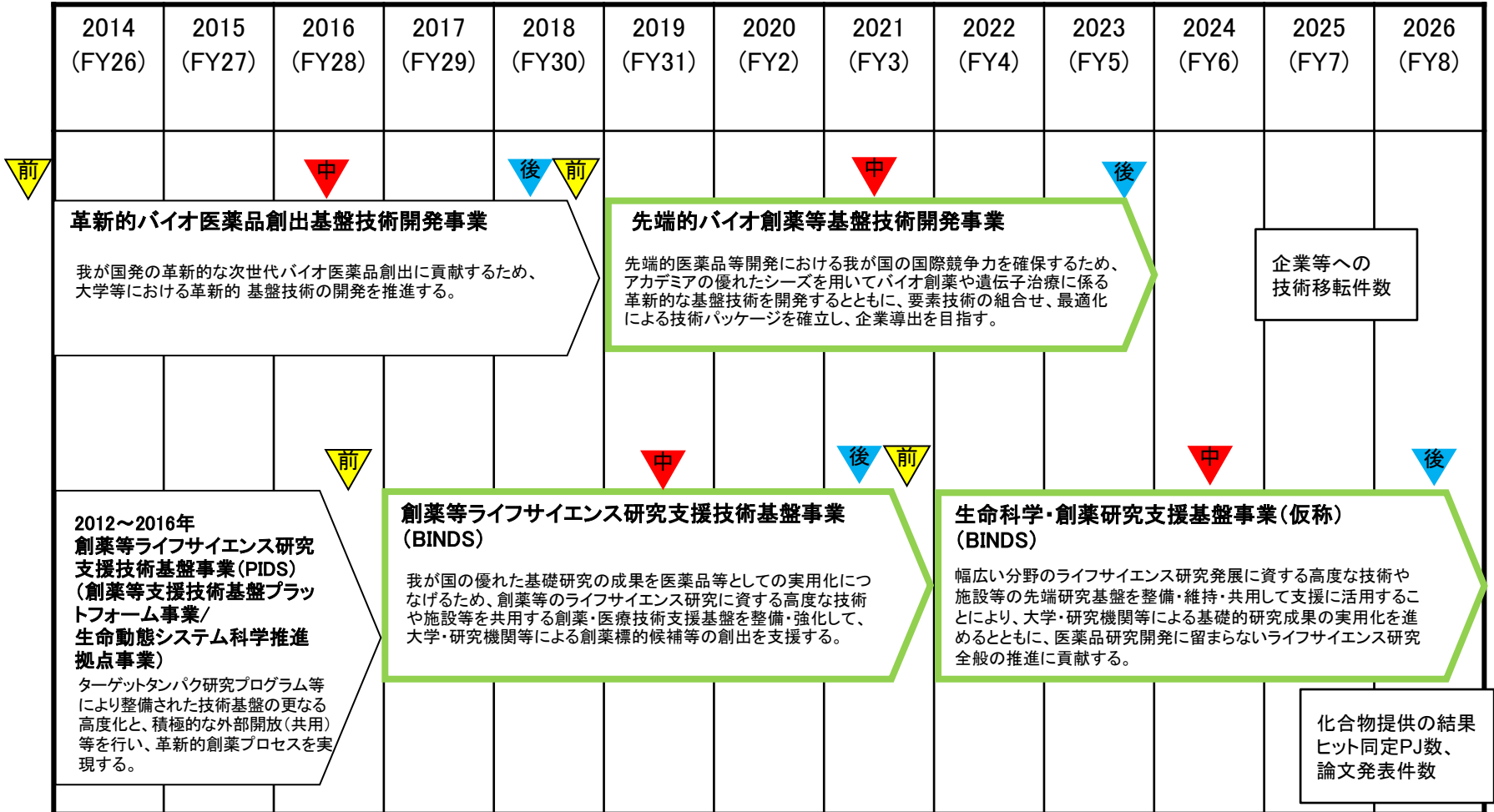
研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、医薬品・医療機器開発への取組: 医薬品創出のための支援基盤の整備等により、革新的医薬品・医療機器開発を推進する。



今年度審議する研究開発課題

【ライフサイエンス分野】: 医薬品プロジェクト(2)

研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、疾病領域ごとの取組: がん等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。

| 2014 (FY26) | 2015 (FY27) | 2016 (FY28) | 2017 (FY29) | 2018 (FY30) | 2019 (FY31) | 2020 (FY2) | 2021 (FY3) | 2022 (FY4) | 2023 (FY5) | 2024 (FY6) | 2025 (FY7) | 2026 (FY8) | |
|---|----------------|---|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|--|
| | | △ 後 | | △ 中 | | | △ 前 | △ 後 | | △ 中 | | | |
| 次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム がんについての革新的な基礎研究の成果を戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速することで、次世代がん医療の実現を目指す。 | | 次世代がん医療創生研究事業 がんの生物学的な本態解明に迫る研究、がんゲノム情報など患者の臨床データに基づいた研究及びこれらの融合研究を推進することにより、がん医療の実用化に資する研究を推進する。 | | | | | | 次世代がん医療加速化研究事業(仮称) 次世代がん医療の創生に向けて、出口を意識した国際的にも質の高い研究を支援し、がんの本態解明等の基礎的研究から見出される新たなシーズを企業や他事業へ導出する。 | | | | | 新規分子標的薬剤及び新規治療法に資する有望シーズ、早期診断・個別化治療予測バイオマーカー及び新規免疫関連有効分子の数(累積) |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、推進計画等に基づき、革新的医薬品・医療機器開発に資する研究開発を着実に実施する。 | | | | | | | | | | | | | |


 今年度審議する研究開発課題

【ライフサイエンス分野】: 医療機器・ヘルスケアプロジェクト

研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、医薬品・医療機器開発への取組: 医薬品創出のための支援基盤の整備等により、革新的医薬品・医療機器開発を推進する。

| 2014 (FY26) | 2015 (FY27) | 2016 (FY28) | 2017 (FY29) | 2018 (FY30) | 2019 (FY31) | 2020 (FY2) | 2021 (FY3) | 2022 (FY4) | 2023 (FY5) | 2024 (FY6) | 2025 (FY7) | 2026 (FY8) |
|--|----------------|----------------|----------------|----------------|--|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------------------------|---------------|---------------|
| | | | | 中 | | | 後 前 | | | | 中 | |
| 医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム、研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)、戦略的イノベーション創出推進プログラム(S-イノベ)、産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M)で構成されており、これらのプログラムを通じて、大学等で行われる「科学技術の基礎研究」と、企業で行われる実践的な「応用研究・開発」とをつなぎ、将来のイノベーションが期待される科学技術のシーズの実用化を推進する。 | | | | | 医療機器等研究成果展開事業(仮称) 先端計測分析技術・機器開発プログラムを土台とした後継事業として、アカデミアと企業の連携を通じて、研究者が持つ独創的な技術シーズを活用した、新しい予防、計測、診断、治療を可能とする革新的な医療機器・システムの開発を目指す。 | | | | | 非臨床POCの取得件数、シーズの他事業や企業等への導出件数 | | |

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、推進計画」等に基づき、革新的医薬品・医療機器開発に資する研究開発を着実に実施する。

今年度審議する研究開発課題

【ライフサイエンス分野】:再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト

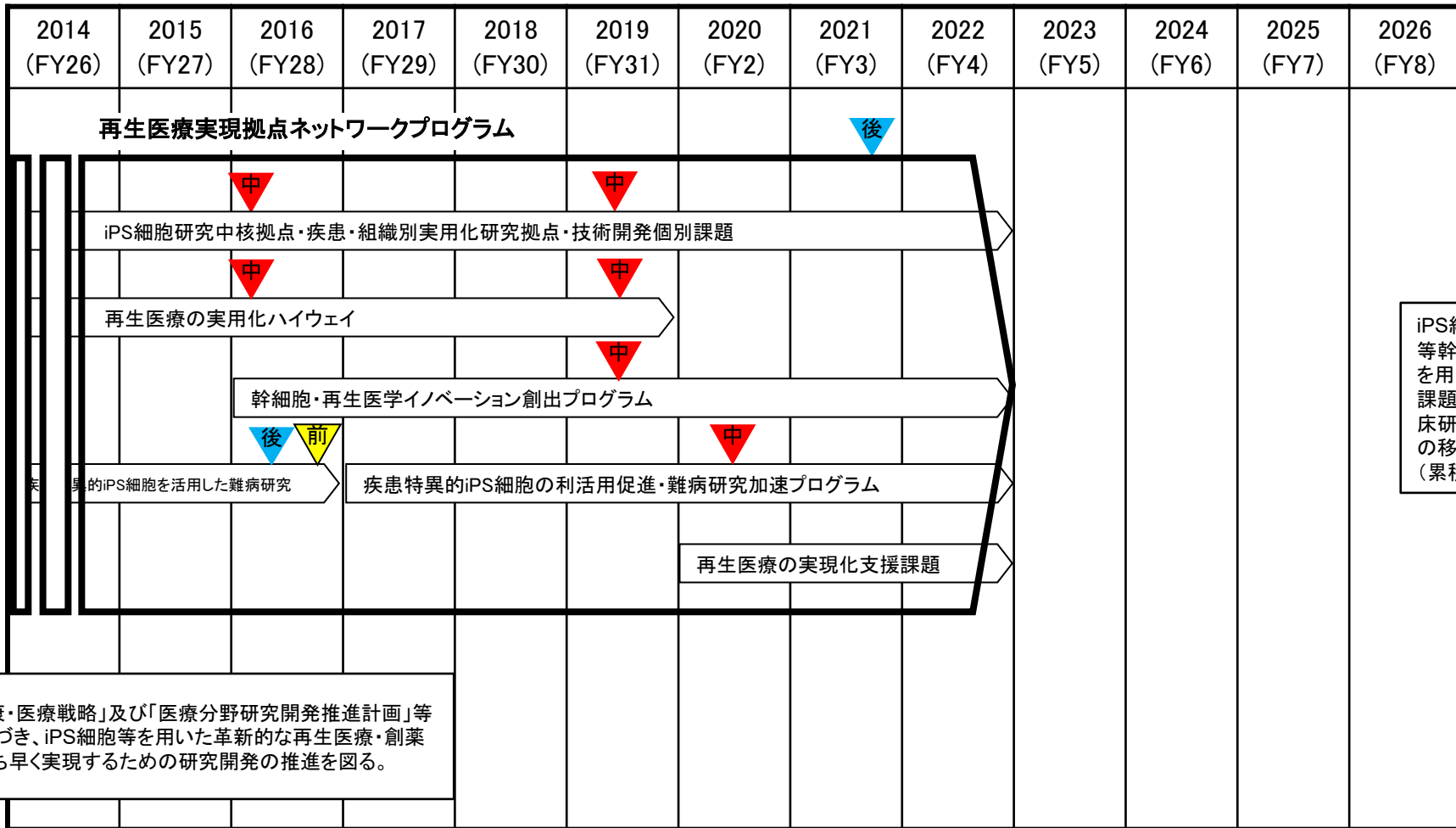
研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、日本医療研究開発機構を中心に再生医療や遺伝子治療など世界最先端の医療の実現に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、世界最先端の医療の実現に向けた取組:iPS細胞等を用いた革新的な再生医療・創薬をいち早く実現するための研究開発の推進を図るとともに、遺伝子治療の実現に向けた取組を推進する。



今年度審議する研究開発課題

【ライフサイエンス分野】:ゲノム・データ基盤プロジェクト

研究開発計画:

大目標
健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現を推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、世界最先端の医療の実現に向けた取組:ゲノム医療の実現に向けた取組を推進する。

| 2014 (FY26) | 2015 (FY27) | 2016 (FY28) | 2017 (FY29) | 2018 (FY30) | 2019 (FY31) | 2020 (FY2) | 2021 (FY3) | 2022 (FY4) | 2023 (FY5) | 2024 (FY6) | 2025 (FY7) | 2026 (FY8) | | | | | |
|---|----------------|----------------|----------------|--|----------------|---------------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|--|--|--|---|
| <p>「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、ゲノム医療の実現に向けた研究開発を着実に実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 前 | 中 | | 後 前 | | | 前 | | | 中 | | | | | | | | |
| <p>オーダーメイド医療の実現プログラム(第3期) これまでに構築した世界最大規模のバイオバンクを活用して、疾患関連遺伝子研究や薬理遺伝学研究を実施し、個人に最適な医療の実現を目指す。</p> | | | | <p>ゲノム研究バイオバンク事業 世界最大級の疾患バイオバンク(BBJ)について、ゲノム医療の実現を推進するため、管理・運用を行うとともに、保有する試料・情報の利活用の促進する。</p> | | | <p>ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム 我が国のコホート・バイオバンクの連携を促進し、成果を活用できる仕組みを整備するため、本事業の下に「東北メディカル・メガバンク計画」、「ゲノム研究バイオバンク事業」、「ゲノム医療実現推進プラットフォーム事業」、加えて、ゲノムデータ等基盤的な情報の充実を目指す「次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析」実施する。各コホート・バイオバンクを連携を加速し、成果の利活用を促進することで、次世代医療の実現を目指す。</p> | | | | | | | | | | |
| | 前 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中 | | | | | | | | | | | | | | | | 後 |
| <p>東北メディカル・メガバンク計画 東日本大震災で未曾有の被害を受けた被災地住民の健康不安の解消に貢献するとともに、ゲノム情報を含む大規模なコホート研究等を実施し、個別化予防等の東北発次世代医療の実現を目指す。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【ライフサイエンス分野】: 疾患基礎研究プロジェクト(1)

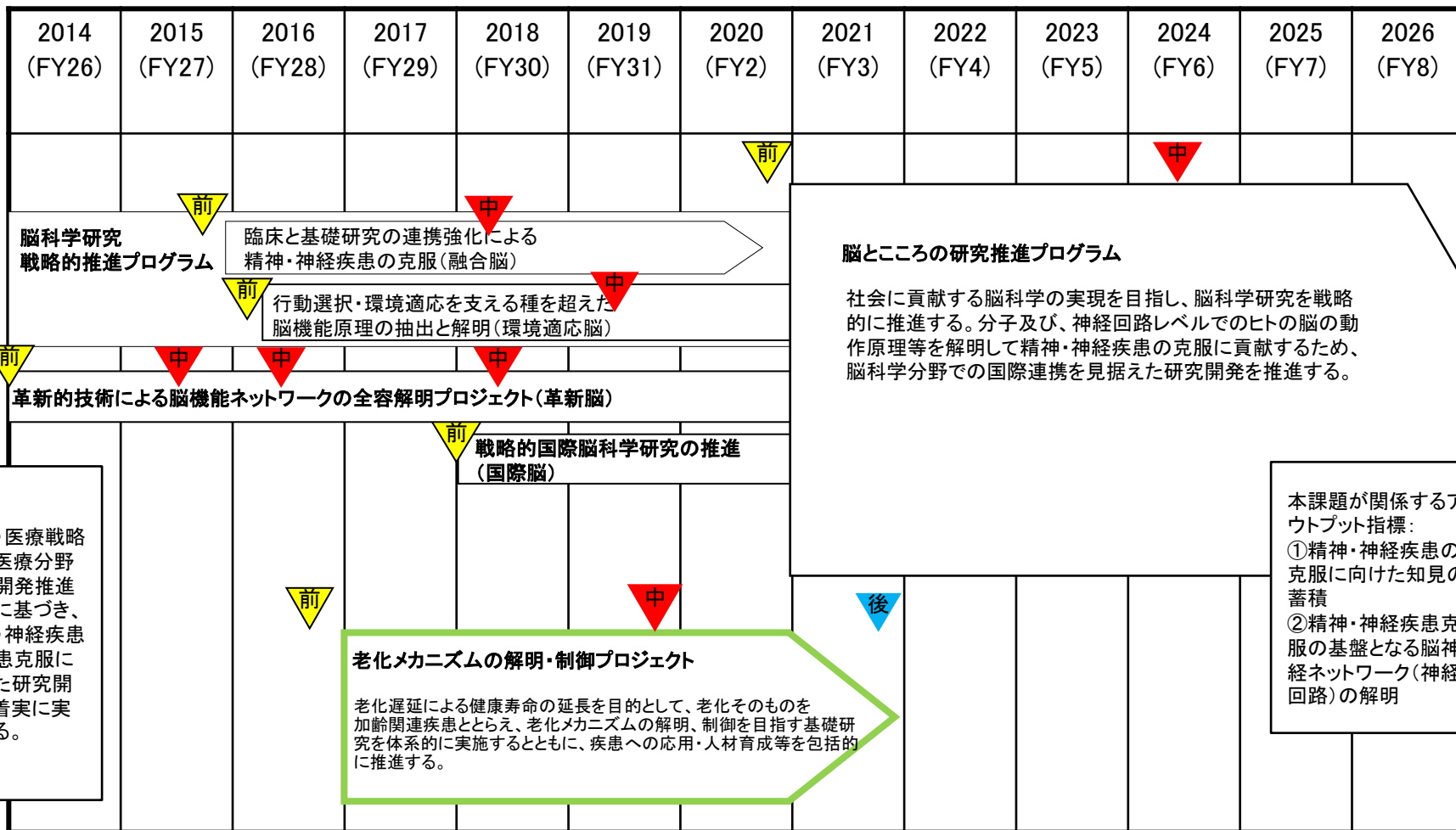
研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、日本医療研究開発機構を中心に精神・神経疾患の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、疾病領域ごとの取組: がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。



今年度審議する研究開発課題

【ライフサイエンス分野】:疾患基礎研究プロジェクト(2)

研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)を中心に、新興・再興感染症の制御に向けた研究開発などを着実に推進する。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、疾病領域ごとの取組:がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発等を推進する。

| 2014 (FY26) | 2015 (FY27) | 2016 (FY28) | 2017 (FY29) | 2018 (FY30) | 2019 (FY31) | 2020 (FY2) | 2021 (FY3) | 2022 (FY4) | 2023 (FY5) | 2024 (FY6) | 2025 (FY7) | 2026 (FY8) |
|---|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|
| <p>後</p> <p>前</p> <p>感染症研究国際ネットワーク推進プログラム</p> <p>アジア・アフリカ諸国に整備した海外研究拠点を活用し、国内の感染症対策に資する基礎的知見の集積、人材育成等を推進する。</p> | | | 中 | | 後 <p>前</p> | | | 中 | | | | |
| <p>感染症研究国際展開戦略プログラム</p> <p>海外研究拠点の基盤強化を図り、全国の大学や研究機関に開かれた研究拠点として活用し、各地でまん延する新興・再興感染症の病原体に対する疫学的調査及び診断治療薬等の基礎的研究を推進する。</p> | | | | | | <p>新興・再興感染症研究基盤創生事業</p> <p>国内外の感染症研究拠点等の研究基盤を強化・充実するとともに、幅広い研究ネットワークを展開し、新興・再興感染症制御に資する基礎的研究等を推進する。</p> | | | | | | <p>病原体(インフルエンザ・デング熱・下痢症感染症・薬剤耐性菌)の疫学研究及び治療薬、迅速診断法等の研究開発の進捗</p> |
| <p>「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、がん、精神・神経疾患、感染症等の疾患克服に向けた研究開発を着実に実施する。</p> | | | | | | <p>感染症研究革新イニシアティブ</p> <p>感染症の革新的な医薬品の創出を図るため、大学等の多様な領域の研究者が分野横断的に連携し、病原性の高い病原体等に関する人材育成や創薬シーズの標的探索研究等を行う。</p> | | | | | | |

【ライフサイエンス分野】: シーズ開発・研究基盤プロジェクト

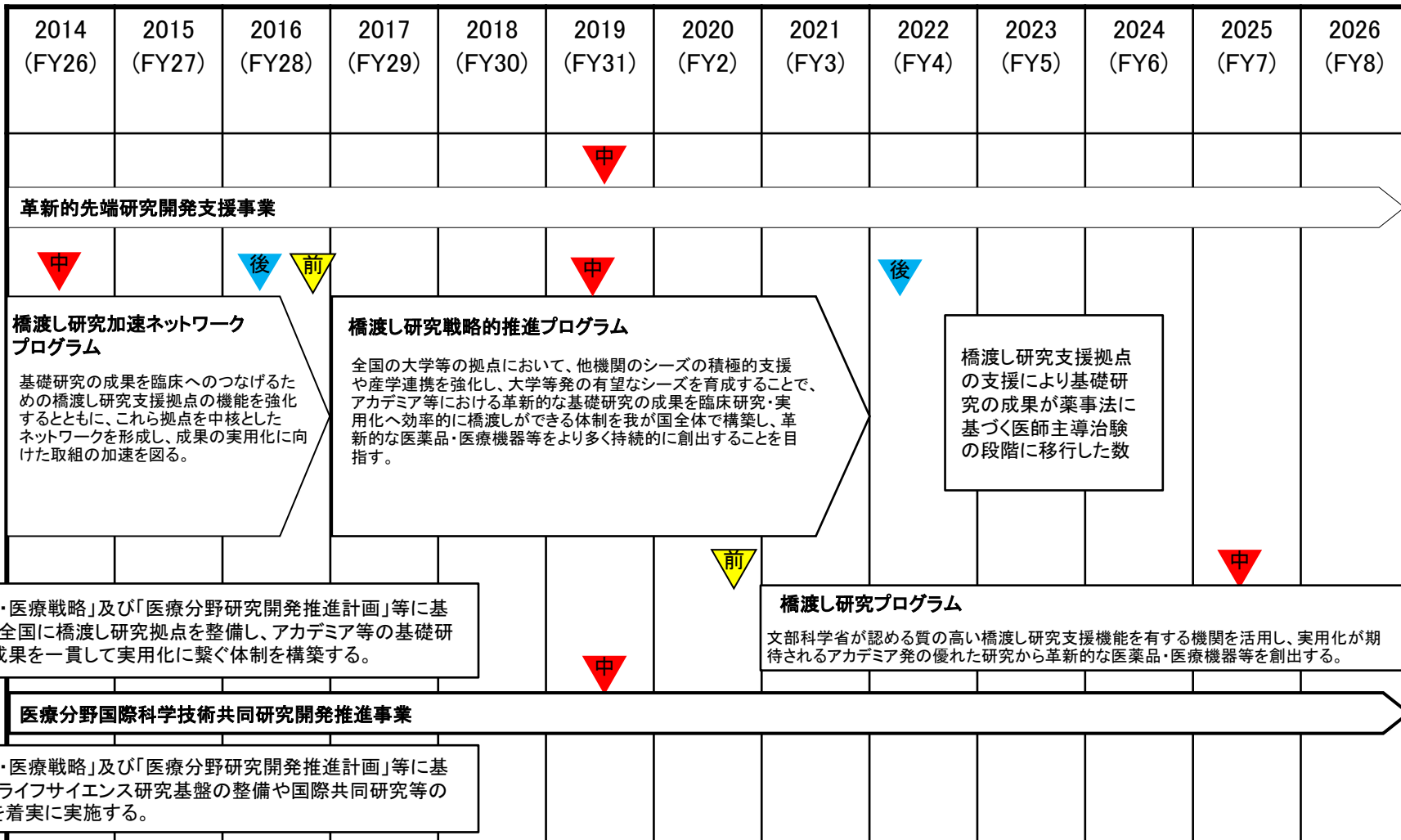
研究開発計画:

大目標

健康・医療戦略推進本部の下、健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を中心に、オールジャパンでの医薬品創出・医療機器開発、革新的医療技術創出拠点の整備、再生医療やゲノム医療など世界最先端の医療の実現、がん、精神・神経疾患、新興・再興感染症や難病の克服に向けた研究開発などを着実に推進する。また、我が国の医療技術や産業競争力を生かし、例えば、感染症対策などの分野で、諸外国との連携による地球規模の課題への取組や、我が国の優れた力を生かした国際貢献といった主導的取組を進めていく。

大目標達成のために必要な中目標

「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、臨床研究・治験への取組: 全国に橋渡し研究拠点を整備し、アカデミア等の基礎研究の成果を一貫して実用化に繋ぐ体制を構築する。また、ライフサイエンス研究基盤の整備や国際共同研究等の取組を着実に実施する。



【ライフサイエンス分野】: ナショナルバイオリソースプロジェクト

研究開発計画:

大目標

幅広い研究開発活動や経済・社会活動を安定的かつ効果的に促進するために不可欠なデータベースや生物遺伝資源等の知的基盤について、公的研究機関を実施機関として戦略的・体系的に整備する。

大目標達成のために必要な中目標

健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」等に基づき、ライフサイエンス研究基盤の整備、国際共同研究等の取組を推進する。

| 2014 (FY26) | 2015 (FY27) | 2016 (FY28) | 2017 (FY29) | 2018 (FY30) | 2019 (FY31) | 2020 (FY2) | 2021 (FY3) | 2022 (FY4) | 2023 (FY5) | 2024 (FY6) | 2025 (FY7) | 2026 (FY8) | |
|---|----------------|----------------|--|----------------|----------------|---------------|--|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------------------|
| 中 | | 後前 | | | 中 | | 後前 | | | | | 中 | |
| ナショナルバイオリソースプロジェクト(第3期) 実験動物等の研究材料について収集・保存・提供を行う拠点を整備するとともに、国内外の大学及び研究機関等に提供することにより、質の高いライフサイエンスの研究の推進に貢献する。 | | | ナショナルバイオリソースプロジェクト(第4期) 国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、品質の確保された世界最高水準のバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する。 | | | | ナショナルバイオリソースプロジェクト(第5期) 国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、品質の確保された世界最高水準のバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する。 | | | | | | |
| ライフサイエンス研究基盤の整備や国際共同研究等の取組を着実に実施するとともに、超少子高齢化社会を迎える我が国の情勢等を踏まえ、予防医療にも貢献する老化のメカニズム解明・制御の基礎研究の推進及び研究基盤の構築等の取組について実施する。 | | | | | | | | | | | | | 提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数 |